

第3期

運用報告書(全体版)

欧州ハイ・イールド債券 オープン(1年決算型) ユーロコース

【2021年1月18日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「欧州ハイ・イールド債券オープン(1年決算型)ユーロコース」は、2021年1月18日に第3期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投資/海外/債券	
信託期間	2018年3月28日から2028年1月18日までです。	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、実質的にユーロ建て高利回り社債等に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	・DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド(ユーロ) ・マネー・リクイディティ・マザーファンド
	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド(ユーロ)	ユーロ建ての高利回り社債等 ※ユーロ建て資産については、為替ヘッジを行いません。
	マネー・リクイディティ・マザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	毎年1月18日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。繰越分を含めた配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 分 達 配		騰 落 率	債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 証 券 率	純 資 産 額
		分	配					
(設定日) 2018年3月28日	円 10,000	円 —	—	% —	% —	% —	% —	百万円 1
1期(2019年1月18日)	8,999	0	—	△10.0	0.5	—	96.8	461
2期(2020年1月20日)	9,618	0	—	6.9	0.3	—	97.5	391
3期(2021年1月18日)	10,016	0	—	4.1	0.5	—	98.0	397

(注) 基準価額および分配金（税引前）は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金（税引前）込み。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。

(注) 当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 証 券 率
		騰	落			
(期 首) 2020年1月20日	円 9,618	% —	% —	% 0.3	% 97.5	% 97.5
1月末	9,415	△ 2.1	—	0.4	98.1	98.1
2月末	9,391	△ 2.4	—	0.6	98.2	98.2
3月末	7,855	△18.3	—	0.5	98.2	98.2
4月末	8,143	△15.3	—	0.5	98.1	98.1
5月末	8,573	△10.9	—	0.5	98.2	98.2
6月末	8,976	△ 6.7	—	0.4	97.9	97.9
7月末	9,306	△ 3.2	—	0.6	98.3	98.3
8月末	9,546	△ 0.7	—	0.6	98.4	98.4
9月末	9,391	△ 2.4	—	0.6	98.4	98.4
10月末	9,286	△ 3.5	—	0.4	98.4	98.4
11月末	9,804	1.9	—	0.3	98.4	98.4
12月末	10,089	4.9	—	0.5	98.0	98.0
(期 末) 2021年1月18日	10,016	4.1	—	0.5	98.0	98.0

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2020年1月21日～2021年1月18日)



期首：9,618円

期末：10,016円（既払分配金（税引前）：0円）

騰落率：4.1%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2020年1月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

主要投資対象である「DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（ユーロ）」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- ・主要中央銀行による金融緩和策の強化等を背景に低金利環境が続く中、各国政府による大規模な財政政策の実施や新型コロナウイルスワクチンの開発進展などを受けて、投資家のリスク許容度が改善したことから、相対的に利回りが高い欧州ハイ・イールド社債市場に資金が流入し、ハイ・イールド社債相場が上昇したことがプラスに寄与しました。
- ・保有債券の高水準な利息収入の獲得がプラスに寄与しました。
- ・為替市場で、ユーロが対円で上昇したことがプラスに寄与しました。

（主なマイナス要因）

- ・新型コロナウイルスの感染が拡大した2020年2月下旬から3月下旬にかけての局面や、いったん収束に向かった新型コロナウイルス感染が再び拡大した9月後半の局面では、投資家のリスク回避姿勢が強まる中、欧州ハイ・イールド社債市場から資金が流出し、ハイ・イールド社債相場が下落したことがマイナスに影響しました。

投資環境

(2020年1月21日～2021年1月18日)

<ユーロ圏の国債市場>

欧州債券市場の主要指標であるドイツの10年国債利回り（以下、長期金利）は低下しました（価格は上昇）。新型コロナウイルスの感染拡大や景気悪化懸念に伴う投資家のリスク回避姿勢の強まりに加えて、欧州中央銀行（ECB）による金融緩和策の更なる強化等を受けて、長期金利は低下しました。

<欧州ハイ・イールド社債市場>

欧州ハイ・イールド社債市場は、相対的に高い利回りに対する需要等を背景として、市場に資金が流入したことから、ハイ・イールド社債相場が上昇した一方、新型コロナウイルスの感染拡大などを受けて、投資家のリスク回避姿勢が強まり、国債との利回り差（スプレッド）は拡大しました。

<為替市場>

為替市場は、ユーロが対円で上昇しました。主要中央銀行による金融緩和策強化や各国政府の財政出動に加え、新型コロナウイルスワクチンの開発進展等が投資家心理の改善に繋がり、安全通貨と見られている円が売られたことから、ユーロは対円で上昇しました。

<国内短期金融市場>

国内短期金融市場は、日銀によるマイナス金利政策の継続を背景に、短期金利がマイナス圏での推移となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2020年1月21日～2021年1月18日)

<欧州ハイ・イールド債券オープン（1年決算型）ユーロコース>

「DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（ユーロ）」と「マネー・リクイディティ・マザーファンド」の各投資信託証券を主要投資対象とし、「DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（ユーロ）」につきましては、組入比率を高位に維持しました。

○DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（ユーロ）

国別の運用状況につきましては、経済回復が相対的に堅調な国の企業を中心に組み入れを行いました。セクター別では、グローバルに展開する企業が多い素材セクターのほか、ディフェンシブ性の高い電気通信サービスなどのセクターを引き続き高めの配分としました。格付け別では、相対的に割安感が見られるB格の債券を市場割合に対して多めに組み入れました。相場が弱含んだ局面では、割安感の出てきた既発債を購入した一方、相場の上昇局面においては、一部で利益を確定するなどの売却を行い、新発債の購入等も実施しました。

○マネー・リクイディティ・マザーファンド

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とした運用を行い、政府保証債を組み入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2020年1月21日～2021年1月18日)

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

分配金

(2020年1月21日～2021年1月18日)

分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。当期間におきましては、委託会社の判断により分配を行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第3期
	2020年1月21日～ 2021年1月18日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,875

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<欧州ハイ・イールド債券オープン（1年決算型）ユーロコース>

「DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（ユーロ）」と「マネー・リクイディティ・マザーファンド」の各投資信託証券を主要投資対象とし、「DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（ユーロ）」につきましては、組入比率を高位に保つことを基本とします。

○DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（ユーロ）

（投資環境の見通し）

欧州では、ドイツでロックダウンが強化されるなど新型コロナウイルスの感染状況は引き続き深刻であり、目先の景気減速への警戒感が強まる中、中央銀行は大規模な金融緩和策を維持すると見込まれることから、国債利回りは低い水準で推移すると考えています。

欧州ハイ・イールド社債市場は、底堅い展開が続くと予想されます。新型コロナウイルスワクチンの普及に加え、欧州各国や中央銀行が金融・財政の両面で景気の下支えを凶るとの期待が、投資家のリスク選好の動きにつながり、市場の上昇要因になると見込まれます。また、低金利環境が続くと予想される中、相対的な利回りの高さが魅力となり、ハイ・イールド社債市場への資金流入が見込まれることから、割安度が増した局面では投資機会として捉えていきます。一方、規制強化などを受けて、景気不振等の影響による社債の債務不履行（デフォルト）リスクなどへの懸念が残ることが市場の上値を抑える要因になると見込まれます。

為替市場においては、日銀による金融緩和策の継続等を背景に、中長期的にはユーロ高円安の流れが進むものと見ています。短期的には、欧州域内における新型コロナウイルス感染拡大の抑え込みと経済活動の両立が難しいと見られることなどを背景とした欧州経済への懸念が、ユーロ安円高要因として考えられます。

（運用方針）

業種間の投資妙味や景気への感応度を考慮し、化学やメディアなどへのセクター配分を選好する方針です。格付け別では、相対的な割安感が引き続き見られるB格以下の債券を積極的に組み入れる方針です。

○マネー・リクイディティ・マザーファンド

（投資環境の見通し）

国内短期金融市場は、日銀によるマイナス金利政策の継続が見込まれることから、主要な投資対象であるわが国の公社債および短期金融商品の利回りがマイナス圏での推移となり、今後も厳しい運用環境が続くと予想されます。

（運用方針）

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年 1 月21日～2021年 1 月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	93 (40) (50) (3)	1. 017 (0. 438) (0. 547) (0. 033)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0. 013 (0. 013) (0. 000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	94	1. 030	
期中の平均基準価額は、9,147円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

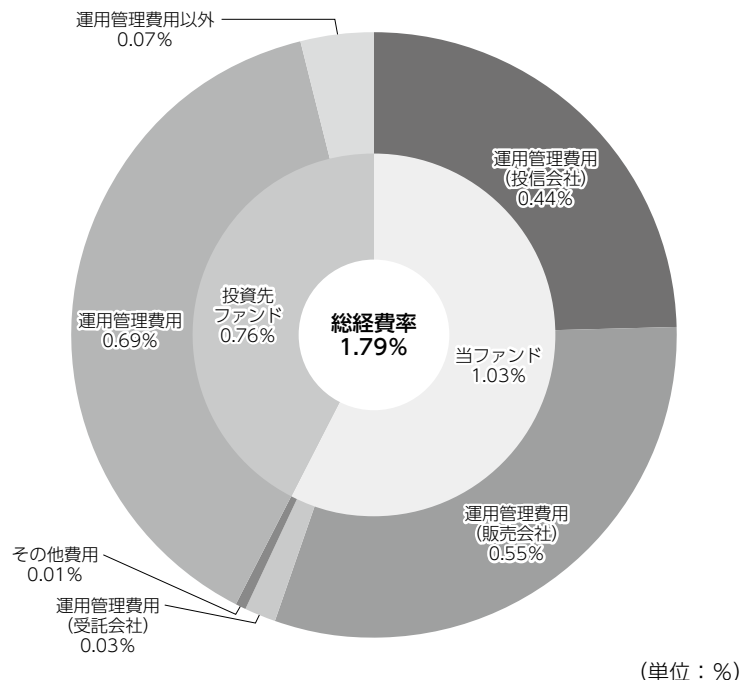
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.79%です。



総経費率 (①+②+③)	1.79
①当ファンドの費用の比率	1.03
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.69
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.07

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年1月21日～2021年1月18日)

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

投資信託証券

銘	柄	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ ボンド・マスター・ファンド (ユーロ)	14,217	79,900	12,126	67,700

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未满是切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2020年1月21日～2021年1月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2021年1月18日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	期 首(前期末)	当 期		末
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
DWS ユーロ・ハイ・イールド・ ボンド・マスター・ファンド (ユーロ)		64,640	66,731	389,243	98.0
合 計		64,640	66,731	389,243	98.0

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 口数・評価額の単位未满是切捨て。

親投資信託残高

銘	柄	期 首(前期末)	当 期		末
		口 数	口 数	評 価 額	額
マネー・リクイディティ・マザーファンド		2,369	2,369		2,370

(注) 口数・評価額の単位未满是切捨て。

○投資信託財産の構成

(2021年1月18日現在)

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	389,243	95.8		
マ ネ ー ・ リ ク イ デ ィ テ ィ ・ マ ザ ー フ ァ ン ド	2,370	0.6		
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	14,694	3.6		
投 資 信 託 財 産 総 額	406,307	100.0		

(注) 評価額の単位未满是切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2021年1月18日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	406,307,743
コール・ローン等	14,656,351
投資信託受益証券(評価額)	389,243,297
マネー・リクイディティ・マザーファンド(評価額)	2,370,963
その他未収収益	37,132
(B) 負債	9,232,198
未払解約金	7,265,349
未払信託報酬	1,941,818
未払利息	10
その他未払費用	25,021
(C) 純資産総額(A - B)	397,075,545
元本	396,439,337
次期繰越損益金	636,208
(D) 受益権総口数	396,439,337口
1万口当たり基準価額(C / D)	10,016円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,0016円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は407,422,516円、期中追加設定元本額は94,353,624円、期中一部解約元本額は105,336,803円です。

○損益の状況（2020年1月21日～2021年1月18日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	20,557,563
受取配当金	19,927,479
受取利息	83
その他収益金	631,832
支払利息	△ 1,831
(B) 有価証券売買損益	△ 1,003,891
売買益	3,734,488
売買損	△ 4,738,379
(C) 信託報酬等	△ 3,784,348
(D) 当期損益金(A + B + C)	15,769,324
(E) 前期繰越損益金	3,525,398
(F) 追加信託差損益金	△ 18,658,514
(配当等相当額)	(32,190,722)
(売買損益相当額)	(△50,849,236)
(G) 計(D + E + F)	636,208
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G + H)	636,208
追加信託差損益金	△ 18,658,514
(配当等相当額)	(32,190,900)
(売買損益相当額)	(△50,849,414)
分配準備積立金	42,175,241
繰越損益金	△ 22,880,519

(注) 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第3期
(a) 配当等収益(費用控除後)	16,793,743円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	32,190,900円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	25,381,498円
分配対象収益(a + b + c + d)	74,366,141円
分配対象収益(1万口当たり)	1,875円
分配金額	0円
分配金額(1万口当たり)	0円

<お知らせ>

該当事項はございません。

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未取配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未取利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額（翌期に繰り越す損益金の合計額）です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2021年1月18日現在）

<マネー・リクイディティ・マザーファンド>

下記は、マネー・リクイディティ・マザーファンド全体（142,536千円）の内容です。

国内公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債)	130,000 (130,000)	130,837 (130,837)	91.7 (91.7)	— (—)	— (—)	— (—)	91.7 (91.7)
合 計	130,000 (130,000)	130,837 (130,837)	91.7 (91.7)	— (—)	— (—)	— (—)	91.7 (91.7)

(注) () 内は非上場債券で内書きです。

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内（邦貨建）公社債 銘柄別開示

銘	柄	当 期			償 還 年 月 日
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	
特殊債券（除く金融債）		%	千円	千円	
第126回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券		1.2	3,000	3,001	2021/1/29
第133回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券		1.3	30,000	30,113	2021/4/30
第137回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券		1.2	47,000	47,265	2021/6/30
第149回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券		1.0	50,000	50,458	2021/11/30
合 計			130,000	130,837	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

〈参考情報〉

DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド

〈当ファンドの仕組みは次の通りです〉

商品分類	ルクセンブルク籍の契約型投資信託
表示通貨	円
運用会社(投資顧問会社)	DWS インベストメントGmbH
運用方法	①主に欧州諸国のユーロ建のハイ・イールド債券等への投資を通じて、高水準のインカム・ゲインの獲得とファンド資産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 ②ユーロ建以外の資産へ投資を行う場合はユーロで為替ヘッジすることを原則とします。
通貨クラス	(円) ユーロ建資産（ユーロ建以外の資産については、ユーロで為替ヘッジをすることを原則とします。）について、原則として円で為替ヘッジを行う円建投資信託証券を発行します。 (ユーロ) ユーロ建資産（ユーロ建以外の資産については、ユーロで為替ヘッジをすることを原則とします。）について対円での為替ヘッジを行わない円建投資信託証券を発行します。 ユーロ建資産（ユーロ建以外の資産については、ユーロで為替ヘッジをすることを原則とします。）について、上記以外の通貨で為替ヘッジを行う通貨クラスもあります。
決算日	毎年12月31日
信託報酬等	運用報酬：実質年率0.70%以内 ※DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンドの信託報酬率は年率0.90%以内ですが、その内、年率0.20%は各ファンドに対して払い戻されるため、実質的な信託報酬率は年率0.70%以内となります。 その他、組入有価証券の売買委託手数料、管理報酬、保管報酬、ヘッジに係る報酬、租税等がかかります。

DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド

以下は、DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンドの監査報告書の一部を、岡三アセットマネジメントが翻訳したものです。岡三アセットマネジメントは正確性、完全性を保証するものではありません。

収入および支出の計算書

自 2019年1月1日 至 2019年12月31日

I. 収益			
1. 受取利息 (有価証券、源泉税控除前)		EUR	42,805,006.05
2. 受取利息 (流動資産、源泉税控除前)		EUR	151,108.31
3. 貸付有価証券による収益		EUR	1,185.00
4. 外国源泉税 (控除)		EUR △	45,055.77
収益合計		EUR	42,912,243.59
II. 費用			
1. 支払利息		EUR △	104,349.66
2. 運用報酬		EUR △	8,355,171.97
内訳:			
一括報酬	EUR △	8,221,177.60	
事務管理報酬	EUR △	133,994.37	
3. 預託費用		EUR △	34,781.61
4. 監査費用		EUR △	20,838.79
5. 年次税		EUR △	90,947.88
6. その他費用		EUR △	641,712.10
内訳:			
貸付有価証券 (管理会社分)	EUR △	395.00	
その他	EUR △	641,317.10	
費用合計		EUR △	9,247,802.01
III. 純投資収益		EUR	33,664,441.58
IV. 売却取引			
1. 実現利益		EUR	168,034,026.15
2. 実現損失		EUR △	145,832,022.30
譲渡益/譲渡損		EUR	22,202,003.85
V. 当年度実現損益		EUR	55,866,445.43
1. 未実現評価益		EUR	66,496,154.48
VI. 当年度未実現損益		EUR	66,496,154.48
VII. 当年度純利益/純損失		EUR	122,362,599.91

DWS Euro High Yield Bond Master Fund

Description	Count/ units/ currency	Quantity/ principal amount	Purchases/ additions in the reporting period	Sales/ disposals	Market price	Total market value in EUR	% of net assets	
Interest-bearing securities								
5.75 % ABN AMRO Bank NV 2015/perpetual *	EUR	2 700 000			%	103.58	2 796 673.50	0.30
4.375 % Ball Corp. 2015/2023	EUR	1 000 000		1 000 000	%	114.738	1 147 375.00	0.13
3.871 % Banco Comerc Portugues 2019/2030 ***	EUR	2 800 000	2 800 000		%	101.394	2 839 018.00	0.31
3.125 % Cellnex Telecom (MTN) 2015/2022	EUR	1 100 000	1 100 000		%	107.508	1 182 588.00	0.13
4.439 % Galapagos SA/Luxembourg -Reg- (MTN) 2014/2021 *	EUR	266 400		2 397 600	%	18.03	48 031.92	0.01
6.25 % OMV AG 2015/perpetual *	EUR	4 630 000			%	127.676	5 911 421.95	0.64
4.50 % Repsol International Finance BV 2015/2075 *	EUR	1 000 000			%	115.638	1 156 375.00	0.13
9.375 % DKT Finance ApS -144A- (MTN) 2018/2023	USD	1 000 000	1 000 000		%	106.758	952 685.97	0.10
0.00 % Nyrstar Holding PLC (MTN) 2019/2026	USD	2 768 000	2 768 000		%	56.339	1 391 632.50	0.15
Unlisted securities						1 714 393.25	0.19	
Interest-bearing securities								
4.375 % Panther BF Aggregator 2 LP Via Panther Finance Co., Inc. -Reg-(MTN) 2019/2026	EUR	1 630 000	1 630 000		%	105.178	1 714 393.25	0.19
Total securities portfolio						897 609 399.30	97.91	
Derivatives								
(Minus signs denote short positions)								
Derivatives on individual securities						150.00	0.00	
Warrants on securities								
Equity warrants								
Novasep Holding 31/05/2019	Count	1 500 000			EUR	0	150.00	0.00

マネー・リクイディティ・マザーファンド

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じる場合がございますのでご了承ください。

マネー・リクイディティ・マザーファンド

第10期 運用状況のご報告

決算日：2020年7月17日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として安定運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資制限	株式および外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期中騰落率				
	円		%	%	%	百万円
6期(2016年7月19日)	10,036		0.0	66.9	—	165
7期(2017年7月18日)	10,031		△0.0	89.5	—	167
8期(2018年7月17日)	10,025		△0.1	64.8	—	155
9期(2019年7月17日)	10,018		△0.1	68.7	—	146
10期(2020年7月17日)	10,010		△0.1	94.6	—	142

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

(注) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

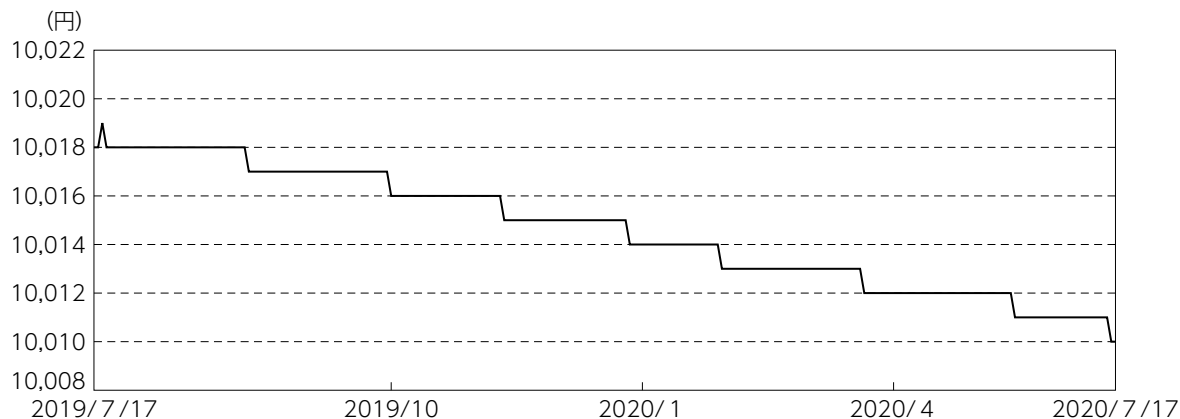
年月日	基準	価額		債券組入比率	債券先物比率
		騰落率			
(期首)	円		%	%	%
2019年7月17日	10,018		—	68.7	—
7月末	10,018		0.0	96.0	—
8月末	10,018		0.0	96.0	—
9月末	10,017		△0.0	97.2	—
10月末	10,016		△0.0	62.5	—
11月末	10,016		△0.0	91.3	—
12月末	10,015		△0.0	56.3	—
2020年1月末	10,014		△0.0	56.2	—
2月末	10,014		△0.0	91.4	—
3月末	10,013		△0.0	73.2	—
4月末	10,012		△0.1	73.2	—
5月末	10,012		△0.1	73.1	—
6月末	10,011		△0.1	66.3	—
(期末)					
2020年7月17日	10,010		△0.1	94.6	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額の推移

(2019年7月18日～2020年7月17日)



○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・特にありません。

(主なマイナス要因)

- ・日銀のマイナス金利政策の影響により、保有債券の利回りがマイナス圏で推移したことが、マイナス要因となりました。

投資環境

(2019年7月18日～2020年7月17日)

短期金融市場では、1年国債利回りがレンジ内で推移する展開となりました。米中貿易摩擦の激化を背景に景気減速懸念が強まり、世界的に債券利回りが低下したことや日銀の追加金融緩和観測の高まりなどを受け、2019年10月上旬に1年国債利回りは-0.30%台へ低下しました。しかし、米中通商協議の進展や日銀のマイナス金利の深掘り観測が後退したことにより、2020年1月上旬に1年国債利回りは-0.10%へ上昇しました。その後、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴う景気減速懸念を背景に、3月上旬にかけて1年国債利回りは-0.2%台後半へ急低下する場面がありましたが、日銀がマイナス金利の深掘りを見送ったことから、利回りが急上昇しました。ただ、4月以降は、-0.15%近辺でもみ合う動きとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2019年7月18日～2020年7月17日)

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とした運用を行いました。当期間中は、政府保証債を組み入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年7月18日～2020年7月17日)

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

今後の運用方針

(投資環境の見通し)

国内短期金融市場は、日銀によるマイナス金利政策の継続が見込まれることから、主要な投資対象であるわが国の公社債および短期金融商品の利回りがマイナス圏での推移となり、今後も厳しい運用環境が続くと予想されます。

(運用方針)

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行います。

〇1万口当たりの費用明細

(2019年7月18日～2020年7月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.002 (0.002)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	0	0.002	
期中の平均基準価額は、10,014円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

〇売買及び取引の状況

(2019年7月18日～2020年7月17日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	特殊債券	千円 215,715	千円 — (180,000)

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

(注) () 内は償還等による増減分です。

○利害関係人との取引状況等

(2019年7月18日～2020年7月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年7月17日現在)

国内公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債)	134,000 (134,000)	134,998 (134,998)	94.6 (94.6)	— (—)	— (—)	— (—)	94.6 (94.6)
合 計	134,000 (134,000)	134,998 (134,998)	94.6 (94.6)	— (—)	— (—)	— (—)	94.6 (94.6)

(注) () 内は非上場債券で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内（邦貨建）公社債 銘柄別開示

銘	柄	当 期			末
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
特殊債券（除く金融債）		%	千円	千円	
第120回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券		0.9	54,000	54,148	2020/10/30
第122回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券		0.9	3,000	3,010	2020/11/30
第126回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券		1.2	3,000	3,019	2021/1/29
第133回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券		1.3	30,000	30,318	2021/4/30
第137回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券		1.2	40,000	40,482	2021/6/30
第19回政府保証地方公共団体金融機構債券		1.2	4,000	4,019	2020/12/14
合 計			134,000	134,998	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2020年7月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 134,998	% 94.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	7,688	5.4
投 資 信 託 財 産 総 額	142,686	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年7月17日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	142,686,289
コール・ローン等	7,114,469
公社債(評価額)	134,998,813
未収利息	189,748
前払費用	383,259
(B) 負債	73
未払利息	8
その他未払費用	65
(C) 純資産総額(A-B)	142,686,216
元本	142,536,794
次期繰越損益金	149,422
(D) 受益権総口数	142,536,794口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,010円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.0010円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は146,031,004円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は3,494,210円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

欧州ハイ・イールド債券オープン (毎月決算型) ユーロコース	94,638,188円
欧州ハイ・イールド債券オープン (毎月決算型) 円コース	26,700,315円
米国優先リートオープン (毎月決算型) (為替ヘッジなし)	13,944,816円
アジア ハイ・イールド債券オープン (為替ヘッジなし)	2,483,390円
欧州ハイ・イールド債券オープン (1年決算型) ユーロコース	2,369,068円
米国優先リートオープン (毎月決算型) (為替ヘッジあり)	1,295,140円
欧州ハイ・イールド債券オープン (1年決算型) 円コース	603,537円
アジア ハイ・イールド債券オープン (為替ヘッジあり)	502,340円

○損益の状況 (2019年7月18日～2020年7月17日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,070,975
受取利息	1,082,273
支払利息	△ 11,298
(B) 有価証券売買損益	△1,177,644
売買損	△1,177,644
(C) その他費用等	△ 2,169
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 108,838
(E) 前期繰越損益金	264,050
(F) 解約差損益金	△ 5,790
(G) 計(D+E+F)	149,422
次期繰越損益金(G)	149,422

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

該当事項はございません。